



TAKE OFF press

TAKEO Future Frontier

【校是】 質実剛健 報恩感謝

佐賀県立武雄高等学校

校長通信 NO.7 R5.07.01

文責 学校長 下村 昌弘

E-Mail shimomura-masahiro@education.saga.jp



学校 HP

人間の機械化は終焉を迎えるのではないか -生成 AI の時代にどう生き抜くか-

「坊っちゃん」は、夏目漱石によって書かれた日本の文学作品です。私の感想として、この小説は非常に興味深く、魅力的な物語であると思います。

物語は、主人公である坊っちゃん（石川五右衛門）の成長と青春を描いています。彼は田舎から上京して学校に通うこととなりますが、田舎者である彼は学校や周囲の人々との摩擦や葛藤を経験します。彼の心の変化や成長が、丁寧に描かれています。

これは今話題の生成 AI に書いてもらった坊っちゃんの感想文（一部）です。

一読して明らかな誤りがわかるでしょう。それにこの文章を読んでも“だから何？”って感じになるのではないのでしょうか。それはなぜでしょう。そこを考えて欲しいのです。

生成 AI の取扱いについては様々な議論がなされています。使用を認める某自治体。使用を禁止する某教育委員会。さて学校はどうすべきか…。文部省の指針も 6 月 22 日に公表されました。



そもそも人工知能は人間よりはるかに性能が高いわけです。その性能を常にアップデートできるならば（現に上記の感想文から 1 月後に同じ指示を出したら「石川五右衛門」はなくなっていました）、もはや「人工知能化した機械」に「機械化した人間（知識を詰め込むだけで自分の頭で考えようとしないう「思考停止」の人間）」が勝てるわけがありません。

ただ、現段階の生成 AI にも事実として不確かな情報が含まれているし、問いの意図を的確に読み取る力や物事の意味を具体的に説明できる力が十分ではなさそうです。

その意味で私たちには最低限の知識は必要ですし、AI の間違いやクセを見抜き、AI のいいところをくみ取りながら、自分の知見をミックスさせて新しい価値観を創造することができるなら、それはそれでとても素敵なことだと思います。

たしかに「人間と人工知能とはうまく共存していけばいい」という意見もあります。しかし「共存」という言葉の中には“人間はこれまでどおりでいい”という前提を感じないわけではありません。ハッキリ言えるのは society 3、0 の工業社会で成功した日本が必要とした資質・能力、つまりジグソーパズル型の資質・能力（知識というたくさんのパーツを組み合わせただけ早く正確に一枚の正解の絵を完成させるという力）だけでは、もはや立ち行かなくなってしまうということです。

「人間の機械化」の終焉。定義が曖昧なまま使うのは、いたずらに不安を煽ることになるかもしれませんが、どうか武高に学ぶ皆さんは、この言葉の意味をおぼろげながらも考え続けてください。人間がこれまでどおりに働くことには、もはや意味がなくなるフェーズに入ってきたように感じています。

鷹匠たかじょうに訊く -幅広く学ぶことこそ武高生には必要-

皆さんは石橋美里氏をご存じでしょうか。鷹匠としてマスコミや CM に取り上げられるあの方です。

石橋氏は本校の卒業生。現在は武雄市橘町でファルコンウィングという会社の取締役部長及び荒井流鷹匠として（鳥害対策をはじめとした環境アセスメントや傷病猛禽の保護等に関わるとともに現代の鷹匠の可能性に挑戦し、次世代の若者を育てる取り組みの一つとして）日本文化全体の文化振興の活動にも取り組んでおられます。



氏は「鷹や鷹狩に関わりながら“物の見積もり”方を学んでいる」と仰いました。ここでの“見積もり”とは、“鷹の飼養・



<https://recommendnews.com/>

調教、鷹狩りに関わる鷹や獲物の細かな心境や身体（フィジカル）の変化、自然の摂理、ひいては他人の、相手の気持ちの見極め”、“狩りの成功率を高める戦略立ての為に鷹を放つ場所がどのような地形になっているのか、その地にどのような生き物がいるか、どこにどのような問題があるか等に直感的に気づく第六感”だそうです。

これは“見えないものを見る”という人としての生き方・感じ方にもつながります。

ご自宅はさながら日本文化研究所。鷹狩の道具や鷹書、武家文化に纏わる貴重な資料を所蔵しておられました。

教科書等で知った塙保己一の『群書類従』を自分の興味から読み進めたとか…。やはり自分の興味・関心があることこそ、それが学びにつながるのだと実感しました。

皆さんも一番自分らしい深掘りできる分野を見つけてください！

【石橋美里氏から武高生へのメッセージ】

日本における人と鷹の関係は初代天皇から数えて 2,000 年以上の歴史がある。また、古事記では2番目に登場するのが鷹の神である。これまで、鷹術の研鑽に努めながら自分の人生を切り開いてきた。しかし近年、鷹に馬と弓が歴史的に深く通じており、これらが他の日本文化よりもさらに日本の源流を司ってきた文化であることに気づいた。そこで今、まさに深掘りしているところだ。また、各国が国を挙げて国際化を進める中で、日本の地域歴史について今一度検討すべき時にあると考えている。長崎街道の宿場町を舞台に当時の長崎街道の地域文化を掘り起こすことも企画している。その実現に向けた折にはぜひ武高生にも参加してほしい。きっとこれまで見えなかった気付きに出会えるに違いない。

高校時代は幅広くいろいろな‘学び‘をしておくことが必要だ。できれば日本文化に触れるとよいと思う。皆さんが思っているよりもそれらの敷居は高くない。

武雄高校では勉強のやり方を学んだ。調べる方法、人に尋ねる方法、重要ポイントなどなど。いろいろな教科の勉強に向けた努力とその過程は決して無駄にはならない。人生におけるたった3年の修行である。それに、若いため多少無理をしてでも体力的にも平気だ。どんどん何にでもチャレンジした方がいい。

いろいろな経験をしながらタフでクールな感性を養ってほしい。

学校ホームページが充実しました！ -SAGA ハイスクールウェビナーも！-

先月中旬から近隣各中学校において高校の学校説明会が開催され始めました。その中で中学生やその保護者の皆様には本校の HP を紹介しています。

在校生の皆さんにも本校の様子はどういうふうに発信されているのか、ぜひ見てほしいと思います。本通信のタイトル枠右側に学校 HP の QR コードがありますので時々アクセスしてみてください。



それから SAGA ハイスクールウェビナーでも若い2人の先生方が本校の紹介をなさっています。こちらも一見の価値あり！ HP にもバナーがあります。<https://www.youtube.com/watch?v=d61Y7Xd0t-k>